



空間コレクション

アイデアをカタチにする

建築の記憶を環境の創造につなぐ

建築博物教室 第13回 公開ギャラリーセミナー

空間のアーキテクチャ

松本 文夫(東京大学総合研究博物館 特任教授/建築学)

日時：2017年6月3日(土) 13:30~15:00

会場：東京大学総合研究博物館小石川分館2階「空間標本」展示室

入場：無料(事前申込不要)

※当日12:30より、寺田鮎美特任准教授によるギャラリートーク「工学主義一田中林太郎・不二・儀一の仕事」を開催します。

空間のアーキテクチャ

松本文夫



松本 文夫 (まつもと ふみお)

略歴

1986年 早稲田大学大学院理工学
研究科修士課程修了
1986-96年 磯崎新アトリエ勤務
1997年 プランネット・アーキテクチャ
ーズ設立
2005年 東京大学総合研究博物館客員
助教 現在、特任教授

著作等

『MODELS——建築模型の博物都市』
(東京大学出版会、2010年、編著)
『設計する身体をそだてる——考えを伝
える図面の技術』(彰国社、2013年、共
編著)
『思考の模型』(東京大学出版会『UP』
連載、2012年1月-2015年12月)

プロジェクト

<総合研究博物館> モバイルミュージ
アム(2006年-)、東京大学懐徳門(2007
年)、UMUT オープンラボ——建築模型
の博物都市(2008-2009年)、
IMAGINARIA(2011年)、真壁伝承館・歴
史資料館(2011年)、大槌文化ハウス
(2013年-)、建築博物誌/アーキテク
ニカ(2013年-)、インターメディアテク
(2013年-)、IMAGINARIA2(2017年)

<その他> Network Cities(国際コン
ペ・21世紀京都の未来/入選)、GINGA
(アルス・エレクトロニカ/入選、グラ
ーツ・メディア建築ビエンナーレ/オース
トリア建築家賞)、INFOTUBE(日経アー
キテクチャ・デジタルデザイン・コンペ/
最優秀賞)、青森県立美術館(設計競技
/入選)、琉球 ALIVE(アジア・デジタル
アート大賞 2003/優秀賞)、Musescape
(ロサンゼルス・ムービー・アワード 2012
/短編ドキュメンタリー部門入選)

(左上)サン・マルタン・デュ・カニグー修道院(フランス)、(右上)建築模型(a.スナイダーマン邸、b.増沢洵
自邸、c.アルテス・ムゼウム、d.ハギア・ソフィア)、(下左)琉球 ALIVE、(下右)ヤオトン(中国)

建築 (architecture) は、建物 (building) や建設 (construction) の
意に解されることが多いですが、元来それは構成原理や設計思想といっ
た非物象的な意味を含んでいます。概念と空間を連関させることは建築
の中心的な課題の一つです。時間軸で考えればそれは一時の対処ではな
く、過去の記憶を未来の創造に結びつけることにつながります。世界の
縮図ともいえる博物館には膨大な事物と情報が蓄積されており、そこは
同時に「建築」の記憶の宝庫でもあります。過去から現在に至る建築の
事例からさまざまなアイデアを抽出しつつ、まだ見ぬ未来の環境のカ
タチを一緒に考えてみましょう。

東京大学総合研究博物館小石川分館

〒112-0001 東京都文京区白山3-7-1
Tel. 03-5777-8600(ハローダイヤル)

開館時間: 10:00-16:30 (入館 16:00 まで)
入館料: 無料
休館日: 月・火・水曜日
(いずれも祝日の場合は開館)、年末年始、
その他博物館が定める日

アクセス: 地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅より徒歩 8 分
<http://www.um.u-tokyo.ac.jp/architectonica/index.htm>

建築博物教室とは?

「アーキテクチャ」をテーマにさまざまな分野の
研究者が講演を行い、関連した標本を「アーキ
テクトニカ・コレクション」として展示していくシ
ーズイベントです。

建築ミュージアム / アーキテクトニカ
KOISHIKAWA Annex.
UMUT
東京大学総合研究博物館小石川分館